

世界史 A オンライン授業演習問題

【第2回：古代オリエントの諸民族】

1 【基礎】次の文章を読み、問1～問6に答えよ。

ギリシア語で「川の間土地」を意味するメソポタミアは、ア 川、ユーフラテス川の流域を指す言葉である。この地域は古くから(1)灌漑農業で栄えた一方、蓄積された富を求めて様々な民族が侵入してきた。この地域の都市国家群を初めて統一したのはセム語系 イ 人であり、その後も(2)セム語系の王国がいくつか成立した。

生ける神(3)ファラオの統治下にあったエジプトも、神権政治に支えられた灌漑農業で栄えたが、海や砂漠に囲まれた地形を生かし、比較的安定して統一を維持した。一方で、中王国末期にはセム語系遊牧民の ウ の侵入を受けるなど、「中間期」と呼ばれる混乱の時代も経験した。

前13世紀末から前12世紀初頭にかけて、系統不明諸民族集団 エ が侵入して以降、(4)東地中海世界は混乱した。ミケーネ文明の衰退を機に地中海貿易を独占した オ 人、カ を拠点に内陸部の中継貿易を担ったアラム人、(5)ヘブライ王国を建設したヘブライ[イスラエル]人は、いずれもセム語派の民族であった。

- 問1 空欄ア～カをそれぞれ埋めなさい。
- 問2 下線部(1)灌漑農業について、メソポタミアからシリア、パレスチナにかけて、古くから灌漑農業で栄えた地域を特に何というか答えなさい。
- 問3 下線部(2)セム語系の王国について、セム語系アムル人により建国され、第6代ハンムラビ王の時代にメソポタミアを再統一した王国の名称を答えなさい。
- 問4 下線部(3)ファラオについて、「イクナートン」を自称して一連のアマルナ改革を主導した、エジプト新王国時代のファラオの名前を答えなさい。
- 問5 下線部(4)東地中海世界について、前13世紀前半に、シリアを巡ってヒッタイトと新王国が争った戦いを何というか答えなさい。
- 問6 下線部(5)ヘブライ王国について、これが分裂して成立したユダ王国を滅亡させ、バビロン捕囚を実施した新バビロニア王の名前を答えなさい。

2 【発展】シュメール人の都市ではどのような政治が行われてい

たか、簡潔に説明しなさい。ただし、以下の語句を必ず用いること。

[語句：ジググラト、階級社会]

【解答】

1

- 問1 ア ティグリス [チグリス] イ アッカド ウ ヒクソス
 エ 「海の民」 オ フェニキア カ ダマスキス
- 問2 「肥沃な三日月地帯」
- 問3 古バビロニア王国 [バビロン第一王朝]
- 問4 アメンホテプ4世
- 問5 カデシュの戦い
- 問6 ネブカドネザル2世

2

最高の神官である王を中心に、神官・戦士・役人が人々を支配する階級社会が成立し、ジググラトに祀られた都市神の権威を基礎とした神権政治が行われた。
(解説)

シュメール人はメソポタミアに最古の都市国家群を形成した系統不明の民族である。都市神の権威を借りた神権政治を行ったことはおさえておきたい。

【採点のポイント】

- ①階級社会：支配階級として神の代理人＝王や神官、戦士などが挙げられている。
- ②ジググラト：都市神が祀られたものとして説明されている。
- ③「神権政治」という語を用いて説明されている。

【類題：筑波大(2018)・新潟大(2015)】